

8年度 1学期終業式 校長講話

皆さん、おはようございます。校長の石丸です。

1学期間、お疲れ様でした。1学期はクラス、学業、人間関係等、多くのことが変わることから、疲れがたまりやすかっただろうと推測します。本日まで、皆さんが無事、学校生活を過ごしてきたことを校長として大変うれしく思います。

私は時々、クラスに入り、皆さんの授業を見えています。活発な意見交換や発表、ICTを活用したスマートなやり取りからは、皆さんが主体的に学んでいる様子が伝わってきます。

また、6月には台風が二度接近しました。本校では、日常的にICTの活用を進めていることに加え、5月にオンライン授業日を設定していることから、比較的スムーズにオンライン授業を行うことができました。こうした対応が可能だったのも、先生方と皆さんの日頃からの取組の積み重ねがあったからだと思っています。

部活動では、元気な掛け声を出しながら動き回る姿、作品の完成に一意専心する姿が、「部活の保谷」を標榜する本校らしい光景でした。大会や発表会という大きな目標に向け、多少のつらさも厭わないその精神力は、この先の人生の力強い支えになるはずです。

体育祭では、後半にかけて風が強まりました。途中、競技中止も頭をよぎり、近くの先生に「中止も考えないとな……」とつぶやいたところ、「校長先生、3年生は最後ですから」と返され、その言葉を聞いて「やれるところまでやってみよう」と判断しました。結果として、皆さんの協力により最後までやり切ることができました。今年は、大きな怪我や体調不良者も少なく、無事に終えることができたことを大変うれしく思っています。

その他、1年生は東京グローバルゲートウェイ、2年生は成田空港と都内散策、3年生は東京ディズニーシーへの校外学習、進路説明会や探究活動などのキャリア教育、各委員会活動等、様々な体験が皆さんを成長させたことと思います。

うれしいニュースもありました。3年生の男子生徒が、雨の中、自転車で転倒し動けなくなった小学生を救急車が来るまで介助しました。自分が着ていた雨合羽を脱ぎ、救急車が到着するまで、その雨合羽を小学生にかけてあげたと聞いています。後日、先方の関係者から心温まるお礼の言葉を頂いております。

また、今年度はグローバル人材育成で、この夏休みに4名の生徒がマレーシアへ出国します。そのほか、3週間の海外短期研修、さらに約11か月間の長期留学に挑戦する生徒がいます。

様々な場面で、様々な生徒が自分らしさを求めて挑戦できる保谷高校。まだまだやれる。まだまだ目指せる。そんな学校でありたいと、改めて感じています。

さて、1学期の始業式で、私はカフェショップでの店員とのやり取りのお話をしました。覚えていませうでしょうか。コミュニケーションがなかなかかみ合わず、何度かやり取りをした末に、ようやく注文が成立したという話です。そんな私ですが、先日、鎌倉時代の説話集『宇治拾遺物語』にも収録されそうな、間抜けな体験をしましたので紹介します。

ある日、そば屋さんに入ろうと思い、ショーケースに陳列してあるサンプルを見ていました。サンプルの中でひと際目を引いたのが、しいたけ、キュウリ、かまぼこ、わかめ、天かすがこれでもかと乗っているたぬきそばでした。私は、迷わずこのたぬきそばを注文し、やがてたぬきそばが運ばれてきました。

「サンプルと同じだ。これはうまそうだ」

私は、まずその具を狙い定め、しいたけ、そしてキュウリ、そしてかまぼこ、わかめと食べ、メインのそばを食べ終えました。残るは天かすです。私は、天かすを前にして、心の中でつぶやきました。

「天かす君、悪いが君だけは食べられないんだ……」

私は、現在、脂質カットダイエット中。油でできている天かすは、私のダイエットコンプライアンス

に抵触します。私はこうして、天かすだけをきれいに残したのです。さて、食事を終えた私は会計のためレジに向かい、店員さんに声をかけました。

「たぬきそば、おいしかったです。天かすは全部残しましたけど。」

すると店員さんは、少し不思議そうな顔をして言いました。

「それでしたら、きつねもありますよ。」

私は、店員さんから予期せぬ言葉が出てきたため、数秒間言葉を失い、まるで鳩が豆鉄砲を食ったような顔で固まってしまいました。そして、ある思いがふと浮かび上がりました。

「待てよ……。ひょっとして、たぬきって天かすのことなのか？」

聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。私は、恥を忍んでおそろおそろ店員さんに尋ねました。

「あの……たぬきって、天かすのことですか？」

すると店員さんは、にっこり笑いながら言いました。

「そうですよ。」

私は、その瞬間、衝撃の事実を知ったのです。たぬきそばの「たぬき」とは、天かすのことだったのです。私は、たぬきを注文しておきながら、たぬきを食わずに、「たぬきそば、おいしかったです。」と報告していたのです。この事実は私にとってまさに青天の霹靂、たぬきに化かされていたような感覚に陥りました。これは、いちごパフェを注文しておきながら、いちごだけを残し、「いちごパフェ、おいしかったです。いちごは残しましたけど。」と報告するようなものです。学校で言えば、「今日は因数分解をします」と言って教室に入り、50分間ずっと平方根の授業をし、「明日も因数分解をやります」というようなものです。

私は何十年もの間、「たぬきそば」という言葉を知っていましたが、CMでも何度も見たことがあります。もちろん、お店のメニューでも何度も見てきました。食べたこともあります。ところが私は、「たぬきとは何なのか」ということに、全く関心が向いていなかったのです。極端に言えば、「そばが出てくれば何でもいい。」その程度の感覚しか持っていなかったのです。今振り返ると、私はたぬきそばを知っていたわけではありません。たぬきそばという名前を知っていただけでした。私は、この経験を通して、「たぬきそばについて知らなかった」ということだけではなく、「自分が知らない状態であることさえ知らなかった」ということに気付かされました。

哲学者ソクラテスは、「自分が知らないということを知っている」ことの大切さを説いたそうです。私は長い間、たぬきそばについて知らなかっただけでなく、自分が知らないということにさえ気付いていなかったわけです。皆さんも、なんとなく知っているが、それが実はとんでもない見当違いだったという経験があることと思います。この夏休み、皆さんも「へえ、そうだったのか」と思うことに会えるかもしれません。そんな発見が一つでもあったら、この夏休みはきっと有意義なものになるのではないのでしょうか。

さて、夏休みですね。皆さんに特に伝えたいお願いが三つあります。

●一つ目です。命を大切にしてください。

夏休みになると、生活パターンが大きく変わり、生活リズムが崩れたり、友達や勉強のこと、あるいは恋人のことで悩んだり孤独感を感じたりすることがあるかもしれません。そんな時は、学校に登校し、担任や学年の先生、信頼している先生に相談してください。一人で悩みを抱え込むと行き場を失ってしまう可能性があります。悩みを共有し吐き出すことで、気持ちが楽になることもあります。どう

ぞ、自分の命だけは大切にしてください。

●二つ目です。トクリュウ事件に巻き込まれないようにしてください。

トクリュウというのは、匿名・流動型犯罪グループの略称で、簡単に説明すると、「SNS で集められ、その場限りで犯罪をする『顔の見えない犯罪チーム』」のことです。

5月14日、栃木県で複数の男が民家に押し入り、女性一人が殺害され、男性二人がけがをする事件が発生しました。この事件では、高校生を含む少年らが実行役として逮捕されています。少年らは、XやInstagramなどのSNSによって、高額報酬や簡単な仕事という名目で募集され、その後、秘匿性の高い通信アプリへ誘導され、結果的に闇バイトに関わっていったとみられています。

いったんトクリュウグループに巻き込まれ、やめようとする、そのグループの指示役から家族を傷つけるなどと脅され、やめようにもやめられなくなってしまう。このような経緯から殺人事件にまで発展してしまう危険性があります。世の中においしい話はありません。絶対にそのような誘いには乗らないようにしてください。

●三つ目です。もっと本を読んでください。

昨年の本校の生徒が図書室から借りた本の平均冊数をご存じでしょうか。なんと一人当たりわずか2冊です。これは、特定の人がたくさん本を借りていることを考えると、全く借りていない人もいるということになると思います。現在、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の普及により、わずか数十秒から数分の短編動画が簡単に見られるようになりました。そこには活字はなく、内容も短時間で理解できるものがたくさんあります。

一方、読書は活字を読み、内容を理解し、イメージしながら読み進めなければなりません。文章や段落の意味を考え、自分なりに理解を深めていく必要があります。この作業は決して簡単ではなく、むしろ時間も労力もかかります。しかし、読み終えたときの充実感が大きく、また文章を読み解く力も確実に身につけていきます。これは社会に出たときに必要となる力であり、皆さんの言葉の力を高めてくれることは間違いありません。今年、私は一年の目標として、生徒が一年間に4冊以上、図書室の本を借りることを掲げています。自分の関心のある分野で結構です。ぜひ、図書室を活用し、たくさん本を読んでください。夏休み、少し時間がとれると思います。図書室に行きましょう。

最後になりますが、3年生の皆さん。夏休みが天王山です。後に悔いが残らないよう、進路実現に向けて頑張ってください。本校は、皆さんの頑張りを最後まで支援しています。

それでは皆さん、良い夏休みを。

都立保谷高等学校
校長 石丸 昌延